

★もしも浜松に米軍基地が来るとしたら

◆沖縄・普天間基地の問題、私達（浜松市民）は他人事と考えていませんか。もし、浜松に米軍基地が来るとしたら、私達はどうか考えますか？

★騒音・犯罪・危険・経済格差

◆米軍基地が浜松に来ると市民の生活は一変します。騒音公害、犯罪の増加、軍用機墜落などの危険、利益を受ける人とそうでない人の経済格差など、沖縄と同じ苦難が始まります。

◆沖縄の人たちは一九七二年の日本復帰後も三十八年間、このような苦難に曝されて来たのです。基地を国外へ、最低でも県外へというのはごく当然のことです。

★自分のところはイヤというのはエゴです

◆ところで、日本人の殆どは日米安保と米軍基地を容認しています。なぜなら、容認している政権与党を選んだのですから。

◆そして、いまも米軍基地は日本国土のわずか0・6パーセントの土地しかない沖縄県に75%も集中して存在しています。

◆これを県外にも公平に負担してもらおうと言うと、大多数は自分ところはイヤだと言います。これはエゴであり、沖縄に対する差別ではありませんか？（*）

*「安保条約が日本にとって、重要だと言うのであれば、その責任と負担は全国民が引き受けるべきではないか。そうでなければそれは差別ではないか」（1996年駐留軍用地の強制使用に係る代理署名訴訟上告審における太田知事―当時―の意見陳述より）

★あなたはどちらを選びますか？

◆米軍基地を容認するなら、沖縄だけに負担を強いることは間違っている。だったら、自分ところに基地が来ることを拒んではいけない！と思いませんか？

◆沖縄の苦難を無くするためには、沖縄県外も米軍基地を受け容れるか、あるいは米軍基地を無くするか、どちらかです。あなたはどちらを選びますか？

★私達は軍事基地のない日本を選ぶ

◆私達、浜松市憲法を守る会は、現憲法の理念から軍事基地のない日本を選びます。そして終極的には軍備のない日本を選びます。

◆私達は地域エゴも軍事基地も捨てようではありませんか。

二〇一〇年九月十二日（日） 第五二三回憲法を守る平和行進
浜松市憲法を守る会 事務局 浜松市中区紺屋町二〇一―一五

★月例護憲平和行進 毎月第二日曜日・午後一時・浜松市役所正面玄関集合

